

訃 報 ——— 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

今井 淳一 殿(建設)

令和 5 年 8 月 7 日逝去 71 歳

■ ■ ■ 編 集 後 記 ■ ■ ■

今夏は暑い！北海道では真夏日が連続 44 日(9 月 1 日)となり、観測史上最長記録を更新しました。国連のグテーレス事務総長は 7 月 27 日、「地球沸騰の時代が到来した」と宣言しました。人間の影響が大气、海洋、陸域を温暖化させてきたことは疑う余地がありませんが、どうやらそれだけではなさそうです。東京大学先端科学技術研究センターの小坂准教授によると、今夏の暑さの主因は、偏西風の蛇行と熱帯地域における低気圧活動の影響の「合わせ技」だと指摘しています。北半球の東西に連なる高気圧と低気圧に、中緯度の西から東に向けて吹く偏西風が加わると、南北に波を打ったように蛇行する流れができます。偏西風が北に張り出すところでは、高温な空気に覆われますが、今夏の日本はちょうどその部分に該当するそうです。もう 1 つは、フィリピン周辺の熱帯地域で、熱帯低気圧が多数発生し雨量が増えると、同地域では低気圧気味になる一方、日本周辺は逆に高気圧気味になり、太平洋高気圧の張り出しを強め、高温に拍車をかけているのだそうです。ビールじゃない水分補給の重要性を実感させられた夏でした。

前置きが長くなりましたが、161 号では北海道本部の年次大会をはじめ地域委員会、社会活動委員会、地方委員会等から多くの活動報告がありました。いずれもリアル又はハイブリッドでの開催でした。昭和世代の直感として根拠はありませんが、対面開催の解禁により解禁放たれたように活動が活発化したのかな？と思った次第です。座学以外にも現地研修会や出前講座、それらとセットの懇親会など、人と人とのつながりが感じられる活動的な取り組みが報告されていますので、是非ともご一読ください。

第 161 号編集担当 阿 部 正 明